

# 街並み保存求める声の中…

## 「シモキタ」 再開発了承

東京都世田谷区の下北沢駅周辺の再開発問題を、熊本哲之区長の諮問を受けて審議していた同区都市計画審議会（会長・東郷尚武元東京市政調査会常務理事）は十八日、駅前に道路やロータリーを新設する地区計画案を、賛成多数で了承した。長年、検討課題となっていた街並みの整備事業がようやく動き出す

### 区都計審

#### 密集商店街に道路整備

が、「シモキタ」の愛称で親しまれてきた街を愛する市民の反発は依然強い。

下北沢地区は、迷路のように入り組む路地に商店が密集する。防災上の不安が指摘される一方、個性豊かなファッションの店や、演劇・音楽ホールなどが集まることで、全国的な知名度を誇る。

計画では、小田急線と京王井の頭線が交差する下北沢駅前に約五千三百平方メートルのロータリーを整備。あわせて北口の商店街に、最大幅二十六メートルの都市計画道路「補助54号線」を敷設する。

高さ制限を緩和。ロータリーと補助54号線に面した場所は、最高六十メートルの高層建築を可能とした。区では、二〇一三年度中の事業完成を目指す。

審議会では委員から「路地の文化が壊れる」「シモキタに高層ビルは似合わない」など反対意見も出て紛糾したが、最後は賛成多数で可決した。

補助54号線は、占領統治下の一九四六年に都市計画決定されたが、そのまま放置されていた。二〇一三年に小田急線が地下化されることが契機となり、数年前になって計画が再浮上した。反対運動には、住民だけでなく、下北沢にゆかりが深いミュージシャンや、作家、学識経験者も多数かわり、イラストレーター、黒田征太郎さんやリリー・フランキーさんによる反対Tシャツも販売されている。



また、周辺約一五・四